

探究入門 特別講義①

平成27年4月27日実施

テーマ「情報収集と著作権」 — 探究型学習に向けて —

講師：兵庫県立図書館 井上由加里先生

講義内容

- ・情報の収集、整理について
- ・NDCマップの作成について

実習内容

- ・図書館の蔵書検索システムを使って本を探してみよう

生徒の感想

- ・1つのことを調べるのにも、いろいろな調べ方があるんだと分かった。これからもっと内容を深く調べるために、今日身につけた知識を有意義に使っていきたい。
- ・引用や要約の違いについてよくわかった。



探究入門 特別講義②

平成27年5月18日実施

テーマ「和歌の家・冷泉家800年」

講師：冷泉家時雨亭文庫理事長 冷泉為人先生

講義内容

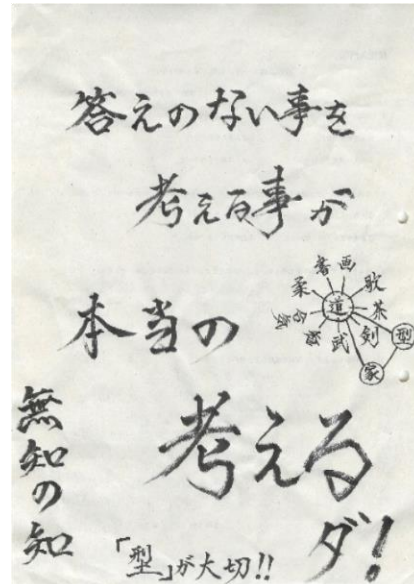
- ・「考えること」が大事
- ・冷泉家の歴史と文化について

生徒の感想

・今日の冷泉先生のお話は、かなり理解するのに時間を必要としました。「型」にはまることを嫌い、分からないことを考えることを避けている現在の僕たちにとっては、実にドキッと話す話でした。

僕自身も「型」より自分のやり方を優先したり、分からないことを放置したりしています。それで、神戸大学に行くなどとは、よく言ったものだなと過去の自分を振り返ると共に、今日習った「型」をまずは身に付けようと思いました。

・これから過ごしていく中での考え方が変わりました。自分の考えを伝えることを大切にしたいと思います。「型」「真善美」「守破離」「無知の知」など新しい言葉が知れたので意識したいと思います。



(生徒のメモ)



探究入門 特別講義③

平成27年6月8日実施

テーマ「日本の中の世界」

講師：神戸大学国際文化学研究所 教授 岡田浩樹先生

講義内容

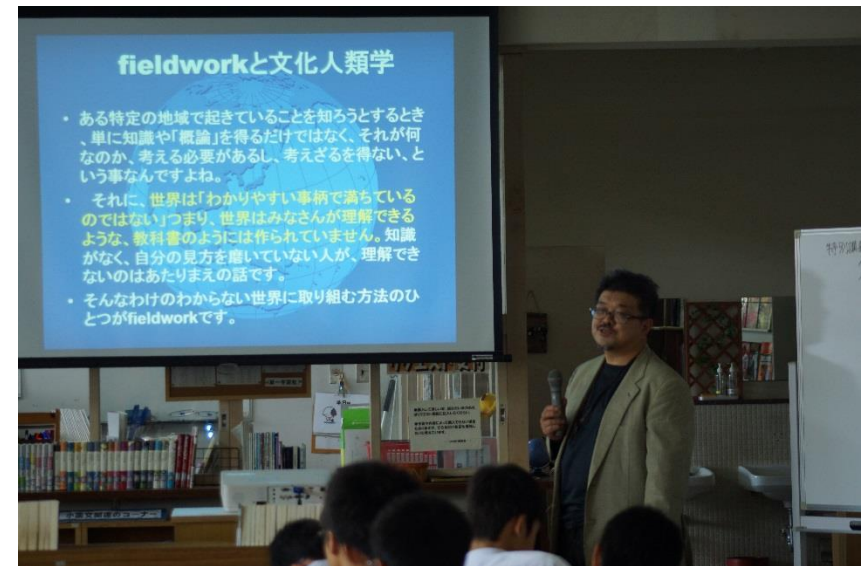
- ・文化人類学、フィールドワーク
- ・東日本大震災、宇宙人類学

生徒の感想

・フィールドワークって深いなと思った。自分には想像もできない世界を、良いことも、悪いことも知りたかった。その場に行ってみないと分からないことを、知りたかった。自分の中の当たり前は、全く当たり前ではないことを頭に入れておきたい。

・今、やりたいことを見つけていなかったり、迷っていたりするの知らないもの多くて、自分の見える範囲、知識が少ないからである。自分の好きなことを見つけるけるために、学び、視野を広げていかなければならない。

・昨年、修学旅行で東北へ行ったので、実際に行った防災市庁舎とかの映像を見て、再び様々なことを思い出しました。私は、映像と実際は全然違うということを去年感じたので、今回の講義はよく理解できました。



テーマ「光合成から人工光合成へ」

—環境と防災に配慮した低コスト社会の実現に向けて—

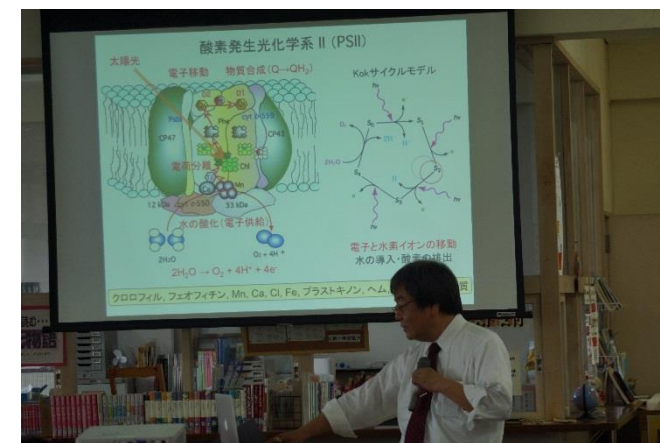
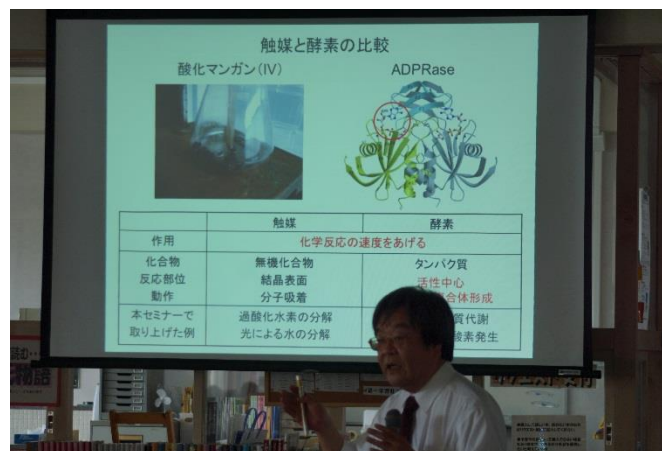
講師：大阪市立大学 複合先端研究機構 教授 神谷信夫先生

講義内容

- ・光合成のしくみについて
- ・人工光合成が果たす役割について
- ・これから私たちが目指す社会とは

生徒の感想

- ・光合成がこんなに地球や僕たち生物と関わりがあるなんて思いもしませんでした。オゾンホールも空いてしまい、暑さや環境に配慮する今の時代の助け舟になってくれたらいいのになと思いました。
- ・私は、「マンダラート」の春休み課題で、「水素が社会を救うこと」について調べました。今回、神谷先生の講義を受けて、私の調べた内容と重なる部分がありました。水素社会を目指す意識がもっと広がっていけばいいなと感じました。
- ・難しかったけど、面白かった。触媒が開発されて、人工光合成が社会に活用されることが楽しみ。



リーダー研修

平成27年7月8日実施

テーマ「リーダー、リーダーシップって何？」

講師：野外活動協会(OAA) 専務理事
生涯学習コーディネーター 清水 勲夫先生

講義内容

- ①リーダーシップとは
- ②人に好かれるために
- ③チームワークとは
- ④「生きていく力」とは

生徒の感想

- ・先生の話し方は本当に丁寧で、心に残って、おもしろかった。今回の研修の意義を見出すことができ、今後に活かせると確信しました。
- ・人との関わりやつながりは大切だなと思うし、その中で自分らしさを出すことも大事だと思った。特に、ゲームをしたときは、スムーズに動けて「チームワークや」って感じる事ができ、すごいなと思った。
- ・最近、人と人とのつながりが薄れてきているように感じる。何かあれば、機械に頼る。人間は機械に使われていると知った。また、普段ぼんやりと意識して見てこなかったものの中に、たくさん気づいていないものがある。少し意識を変えるだけで、今まで見てきた世界が違うものに見えるのではないかと考えている。



探究入門 特別講義⑤

平成27年7月10日実施

テーマ「プレゼンテーションとは」

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

講義内容

- ・プレゼンテーションとは何か？
- ・プレゼンテーション・ワークシート作成

生徒の感想

- ・私は、自分はプレゼンが得意だと思っていました。中学で定期的に行われていたスピーチの成績は上位だったし、今の状態で満足していました。だけど、その考えが一気に覆りました。今までの自己満足なものではなく、相手中心に考えた聞き手中心のプレゼンテーションができるようになりたいです。
- ・プレゼンとは思ったより、理解しやすく単純なものだと気付いた。笑いもあってとても分かりやすい講演だった。自分も情動的なものや言葉から変えていこうと思った。
- ・先生の話し方や動作、声の大きさなど聞いている私たちが「もっと知りたい！」「もっと聞きたい！」と思うようなプレゼンで本当にすごいなと思いました。プレゼンがとても楽しみで、ワクワクした気持ちになりました。



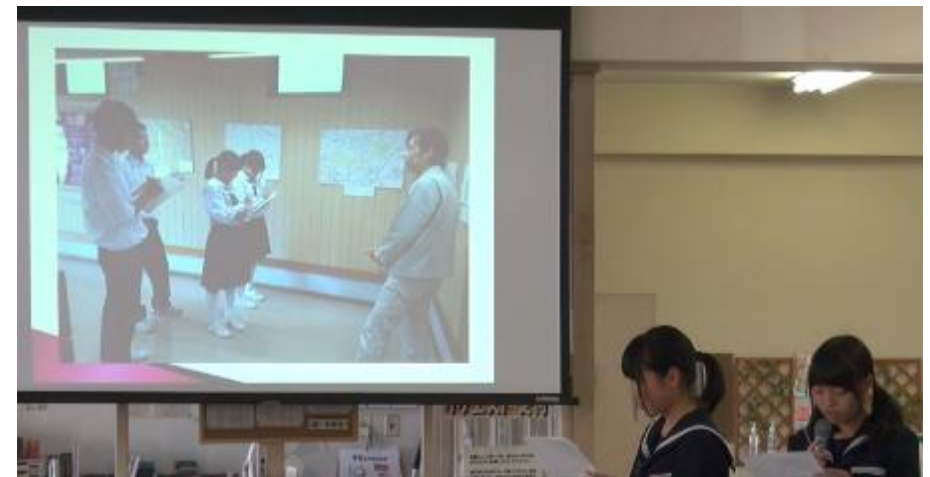
クラス中間発表①

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

5班 日本人の名前



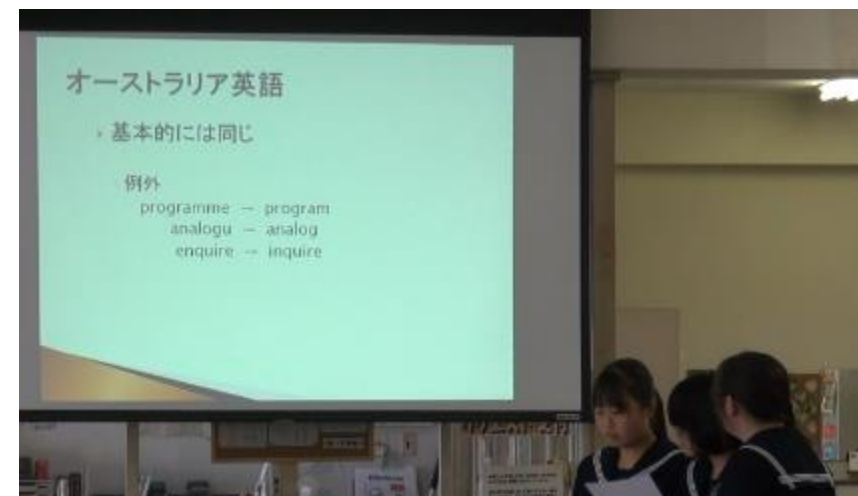
1班 国史跡 播州葡萄園について



7班 外来種駆除と生物の共生について



3班 英語 ~いろいろな観点から~



クラス中間発表②

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

8班 WHAT IS 認知症？



9班 スポーツについて



6班 スマホの利用実態について



4班 「もののけ姫」から学ぶ「生」



クラス中間発表③

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

2班 「日本神道」と「ユダヤ教」



発表時間 各班5分，助言 3分
評価シートを用いて、相互評価を実施
(感想)

- ・研究を行い、写真をとっている班はすごいと思った。私たちの班ももっと深く探究していきたい。
- ・発表するのはすごい難しいことと思った。自分の思っている通りにできなかったので、次回の発表までにはしっかりとできたらと思いました。
- ・様々な班の発表を聞くことができ、良い刺激になりました。先生の助言を参考に、今後の探究活動に活かしていきたい。

各班に吉田先生から丁寧なアドバイス





兵庫県立東播磨高等学校

オープン・ハイスクール

平成27年11月4・5日

Get Your Chance! ~未来をつかもう~

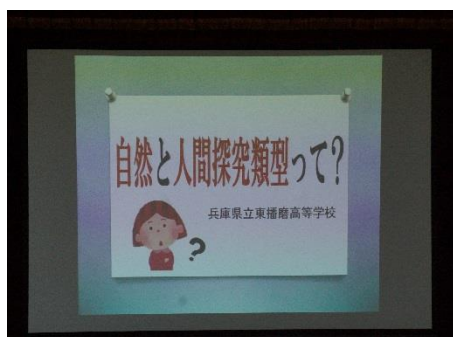


兵庫県立東播磨高等学校 オープン・ハイスクール



「自然と人間探究類型」の取り組みについて

「リーダー研修」を紹介



「探究入門」 クラス代表2班による発表



平成 27 年度

高等学校魅力・特色づくり活動発表会に参加

1月30日(土)神戸スペースシアターにおいて、高等学校魅力・特色づくり活動発表会がありました。ステージ発表4校、ポスターセッション30校で、本校はポスターセッションを担当しました。テーマ「自然と人間探究類型」始動！ -これからの学びのかたち- と題して、1年1組「自然と人間探究類型」の生徒7名が「リーダー研修」「探究入門」について発表しました。

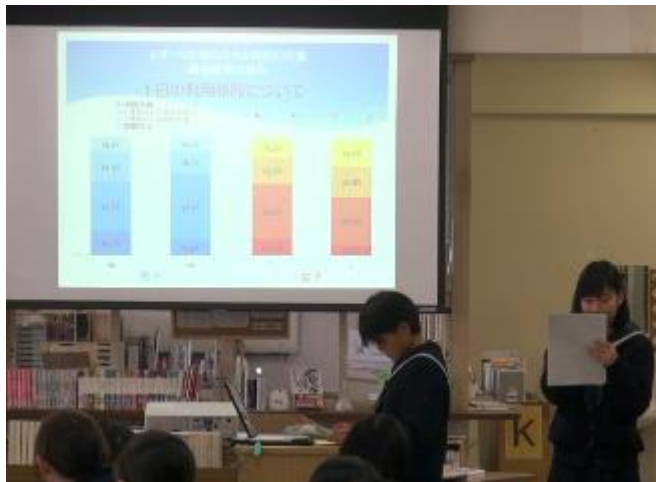
(発表会の様子)



クラス発表会①

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

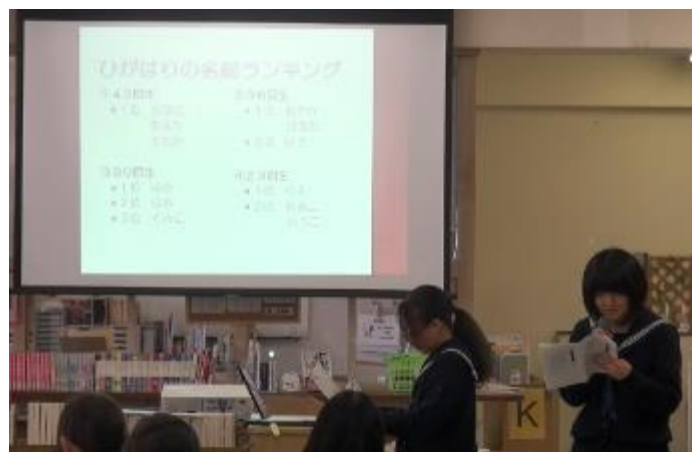
6班 スマホの利用実態について



8班 What is 認知症



5班 日本人の名前



9班 スポーツ ~トップアスリートへの道~



クラス発表会②

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

2班 「日本神道」と「ユダヤ教」



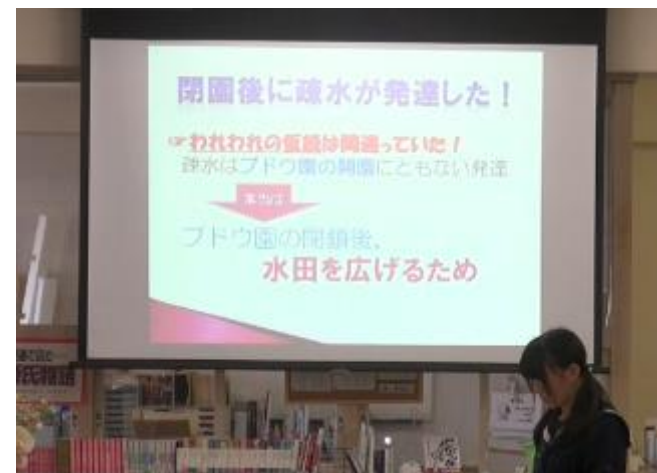
4班 玉の小刀に秘められた真実



3班 英語 ~いろいろな観点から~



1班 国史跡 播州葡萄園について



クラス発表会③

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

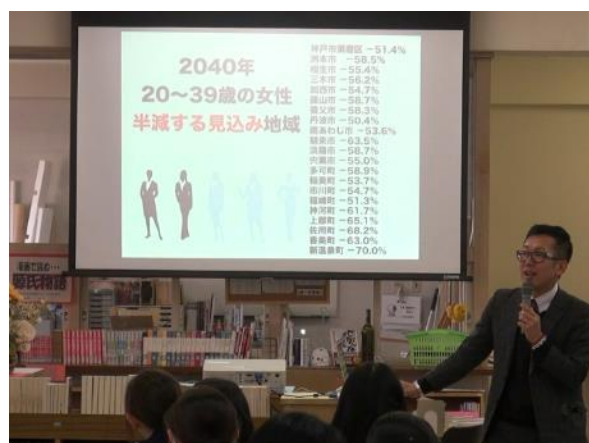
7班 外来種駆除と生物の共生についての研究



発表時間 各班8分，助言 3分
評価シートを用いて、相互評価を実施
(生徒の感想)

- ・どの班も中間発表より深まっておもしろかった。
- ・どの分野も細かく調べられていて分かりやすかったです。自分だけでも探究したいと思いました。
- ・4班の発表は本当によかった。1つの事実に対して、毎回の「疑問点 → 調べた内容 → 考察」があって、聞いた後のすっきり感がすごかった。
- ・全体を通して調べるのが最初は面倒くさいと思ったが、調べていくうちに楽しかった！

各班への適切なアドバイスと「探究」の可能性を話していただきました



学年発表会

「自然と人間探究類型」の3つの代表班が発表しました

4班 玉の小刀に秘められた真実



7班 外来種駆除と生物の共生についての研究



1班 国史跡 播州葡萄園について



「探究入門」「リーダー研修」を終えて
(生徒の感想・意見)

- ・もっともっといろんな事に挑戦したい！何事にも自ら進んで行くことが、どれだけ楽しいか今回知れたと思う！
- ・最近少しでも気になったことがあったら、本やインターネットなどで調べるようになった。
- ・新たな発見や考え方を見つけることができ、自分に足りていないことを明確にすることができた。

平成 27 年度

次代と語る『ため池』交流会について

平成 28 年 3 月 5 日(土)稲美町ふれあい交流館で行われた「次代と語る『ため池』交流会」第二部：高校生による「ため池研究発表会」において 1 年 1 組「自然と人間探究類型」の代表班がテーマ「外来種駆除と生物の共生についての研究」と題して発表しました。

(交流会の様子)

